

抜本的なシカ被害 対策を早急に

問 平成23年度本町のシカ捕獲数は1,309頭であるが一向に被害が減少しないが抜本的な対策をワナ猟の人材確保のため一定の財政支援を行う



重森一宗 議員

り農産物はもちろんのこ
と、植林されたスギやヒ
ノキの30年生から50年生
の木の皮を剥ぐという被
害も多く発生しており、
非常に深刻な問題と捉え
ている。



シカによる食害 (西峰沖地内)

重森一宗議員
シカの捕獲にワナ猟が
急がれるが、高知市内で
実施している講習、試験
等を日曜日にも本町で開催
されるよう県に対して働
きかけを行いワナ猟資格
者を確保してはどうか。
また、経費に対しての支
援を行う考えはないか。

岩崎憲郎町長
県の担当課から地域で
の講習や試験の実施希望
調査があり、実施を要望
をしている。これが実現
されるよう今後とも働き
かけを積極的に行う。ま
た、ワナ猟の人材確保の

ため、一定の財政支援を
行うために今期定例会の
一般会計補正予算案へ計
上している。今後、大豊
町森林組合と連携しなが
ら人材確保に努める。

重森一宗議員

町長は全国山村振興連
盟の副会長の要職を努め
ており、鳥獣被害防止に
関する提言、要望を国に
行い鳥獣被害防止特別措
置法の一部を改正する法
律が、平成24年3月27日
に国会で可決成立し、3
月31日公布されたが、こ
の改正内容を聞く。

岩崎憲郎町長

この法律は、鳥獣によ
る農山村漁村への被害が
深刻化する一方で、鳥獣
の駆除の担い手である狩
猟者の減少・高齢化が進
んでいる現状に伴い、鳥
獣の捕獲等に関わる人材
の確保等に関する規定の
整備を行ったものである。
主たる改正内容は、財
政上の措置、捕獲した対
象獣の食品としての利用、
捕獲等に関わる人材の確

町単独事業「みんなで支える 郷づくり事業」の検証を

問 この事業を導入できなかった
超高齢集落は早急な検証を
答 年々増加する事業要望に伴い
補助金も増額しており、当初予
算計上時には検証を行っている

重森一宗議員

「みんなで支える郷づ
くり事業」に対する町長
の目的と意思を確認する。

岩崎憲郎町長

高齢化する中で、それ
ぞれの集落のコミュニ
ティーにより様々な課題
などを解決してきたが、
一集落での道役などが困
難になってきている集落
がある。こうした集落に
対しては一定の支援が必
要である。この事業によ
り、地域でみんなが助け
合い・地域をみんなで守
り・地域をみんなで元気
にしていこうというのが、
この事業の目的である。

保に資するための措置、
狩猟の操作及び射撃の技
能に関する講習に係る特
例などである。

さらに、この事業とセツ
トで職員の地域担当制に
より地域を元気にしてい
く。

重森一宗議員

ソフト事業として、町
道等の清掃等に活用され
ているが、85集落の内57
集落が活用し、28集落が
活用していない。必要の
ない集落もあるが、超高
齢化集落では活用ができ
ない事情があるとすれば、
早急な検証が必要ではな
いか。

岩崎憲郎町長

町民の声を聞き毎年見
直しを行っている。



除雪 (八畝地内)

例えば集落環境維持のため
の支障木伐採を林業従
事者が行う委託事業、集
落内へのゴミ置き場設置
に対する経費や各集落の
中での生活道等の除雪作
業に対する経費に助成を
行っている。今後とも検
証を行い、この事業によ
って地域を元気にして
いこう。

重森一宗議員

林業従事者に対し30万
円で支障木伐採を委託す
る事業であるが、伐採さ
れた人工林や雑木等の処
理まで委託すると高額な
経費が必要となり、伐採
面積も少なくなつて集落
環境の効果は現れなくな
る。そこで委託事業費と
集落で支障木等の後片づ



大畑井

けをする際のガソリン代、
保険代やその他の費用を
含めた事業費30万円を限
度とした補助金の交付は
認めることができなにか。

岩崎憲郎町長

支障木の伐採は危険が
伴い専門業者委託として
いるが、今後検討する。

重森一宗議員

単一集落10万円の事業

では、除雪とゴミ置場の
二つに限定しているが、
集落で生活する上におい
て必要な事柄、例えば里
道の維持管理も補助の対
象とできないか。

岩崎憲郎町長

この事業は複数集落で
取り組み地域を元気にし
ていくことが主旨であり、
現制度で理解をお願い
したい。

大豊小・大田口小・大杉小 学校統合

問 6月定例会で小学校統合の議案
が提出されなかった原因は
答 新校舎建設や新校舎建設の位置
についての調整が必要である



今井安博 議員

本年3月議会定例会の
全員協議会で、小学校統
合については平成26年4
月を目標とし新校舎を建
設して、小中一貫教育を
目指すため、6月定例会
で議案を提出するという
話があった。しかし、
現在はその域に達してい
ないと報告があったが、
主たる原因は何か。



吉松英喜 教育長

前回の再編成統合提案
時に、大杉小学校を使用
し新しい学校を創ると提
案をしていたが、その時
点でプール、駐車場の狭
小及び教育環境などの問
題等があり、保護者から
大杉小学校使用について
は反対の意見が多数あつ
た。その結果などを踏ま
えて、今回中学校と同敷
地内に新しい校舎を建築
することとしたが、現時
点で既存の小学校とする
のか、新校舎を建設する
のか、また新校舎建設の
位置についての調整が必
要であり提案を見送った。